

令和5年第12回教育委員会定例会日程

〔日時〕 令和5年12月27日（水）午前9時30分

〔場所〕 市役所6階602会議室

---

第1 教育長報告

- ①「東久留米市第3次教育振興基本計画（原案）」に係るパブリック・コメントについて
- ②令和5年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果について
- ③令和5年第4回市議会定例会について
- ④「スポーツ健康ウィーク東久留米2023」の報告について
- ⑤令和5年度東京都市町村教育委員会連合会第3ブロック研修会について

「東久留米市第3次教育振興基本計画」（原案）に係る  
パブリックコメントの実施結果

【募集期間】令和5年12月1日（金）～12月20日（水）20日間

【ご意見数】1人・4件

【ご意見の内容及び回答】

※ご意見については趣旨を損なわないよう要約しています。

	ご意見の概要	ご意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>計画に記載されている内容の具体策については、別途計画がつくられるのか。「不可欠です」「向上を目指し」等の記載はあるが具体的なイメージが持てない。</p> <p>例えば、不登校対策に「児童・生徒一人ひとりに寄り沿った指導の充実を図る」（P.21）とあるが、どのように指導の充実を図っていくのか。また、スクールカウンセラーは市内の複数の学校を兼任しているが、対応してもらえる日時は限られているが、選択肢が増えるのか。</p> <p>「寄り添った指導の充実」により不登校の現状をどのようにしていくのか。「不登校をとにかく減らしたい」「不登校はやむを得ない（現行の学校制度では不登校はしかたない）ので、多様なケースに対応していく方向性に舵をきる」とか…。</p>	<p>本計画に掲載した各施策を推進するために、単年度の事業計画を策定し、進捗状況や効果等の進行管理を毎年度行い、その結果について公表してまいります。</p> <p>なお、不登校対策については、未然防止、早期支援のため、教職員のほか、スクールカウンセラーをはじめ、学力パワーアップサポーター等、学校全体での対応を推進してまいります。さらに、不登校の原因や様様は様々であることから、長期化への対応のため、スクールソーシャルワーカーによる支援や、学習適応教室、別室登校など多様な学びの場づくりを進めてまいります。</p>
2	<p>「地域との連携」との観点から、各地域でどんな人たちが活動しているのかを可視化してほしい。</p> <p>また、青少協はそれぞれの地域で活動されているが、横のつながりがないように見える。お互いに学ぶところは多いと思うので、市にはコーディネートをやってもらえたらいいと思う。</p>	<p>学校と地域の諸団体が連携した様々な取り組みについては、学校だよりや学校ホームページで周知しているところですが、引き続き広報活動に努めてまいります。</p> <p>なお、青少協の活動については、各地区の会長が集まり情報共有などがなされており、市としても支援しております。</p>

3	<p>道徳教育や人権教育に期待している。多様性が言及される昨今、日本の道徳教育がどこまで対応できるのか疑問もあるが、改定後の「考える・議論する道徳」で、有識者や当事者をも巻き込みながら進めてほしい。教室に設置されているモニターを使って、著名人のインタビュー等を見ることなどもいいと思う。</p>	<p>道徳教育及び人権教育については、オンラインの活用を含め、外部と連携したり、体験的な活動を取り入れたりして教材の工夫に努めるなど、引き続き教育活動全体をとおして推進してまいります。</p>
4	<p>可能な範囲で教育には関わっていきたいと考えている市民は多いと思う。従来の組織（PTA、青少協など）も保持しつつ、教育についてカジュアルにディスカッションできる場があるといい。</p>	<p>社会が複雑化・多様化し、子供を取り巻く環境も大きく変化する中、これからの教育は、これまで以上に学校と家庭・地域の協力の下で進めていく必要があります。</p> <p>PTA、青少協等のほか、各校で実施されるアンケートや学校評価に加え、道徳授業地区公開講座における意見交換等、保護者や市民の皆様のご意見を引き続き求めてまいります。</p>

(表紙のみ)

(原案)



# 東久留米市 第3次 教育振興基本計画

令和6年 月

東久留米市教育委員会

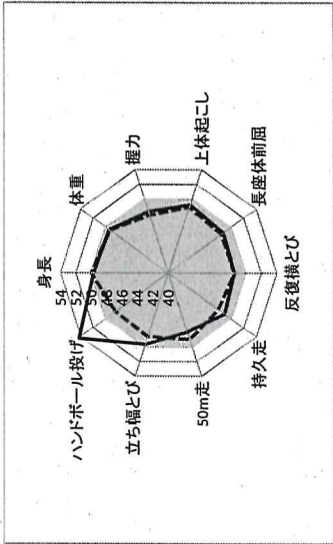
令和5年度 「東京都児童・生徒体力・運動能力・生活・運動習慣等調査」の結果についてⅡ（中学校）

令和5年度  
東京都  
留米市  
教育委員会  
指導

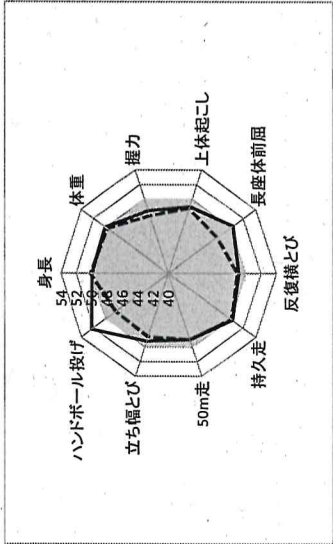
全国(令和4年度) 東京都(令和5年度)

全国(令和4年度)の値を50としたときの比較

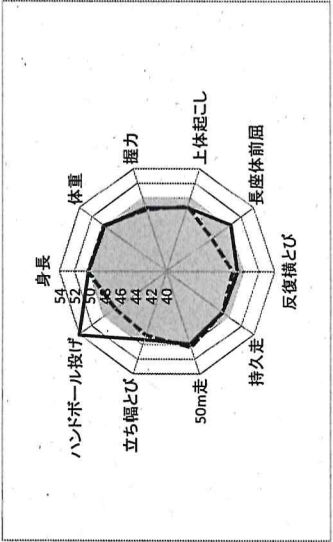
中学校1年男子



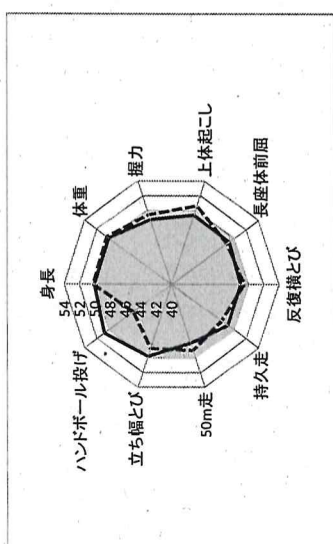
中学校2年男子



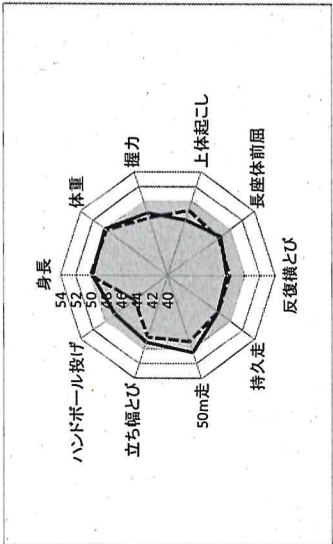
中学校3年男子



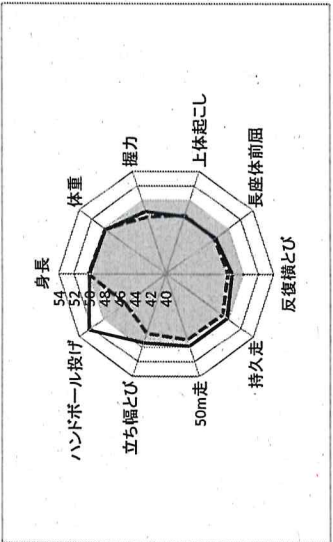
中学校1年女子



中学校2年女子



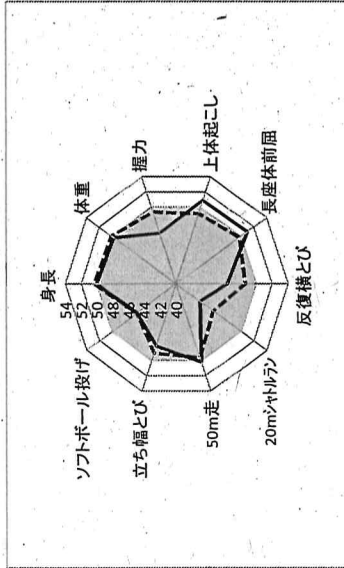
中学校3年女子



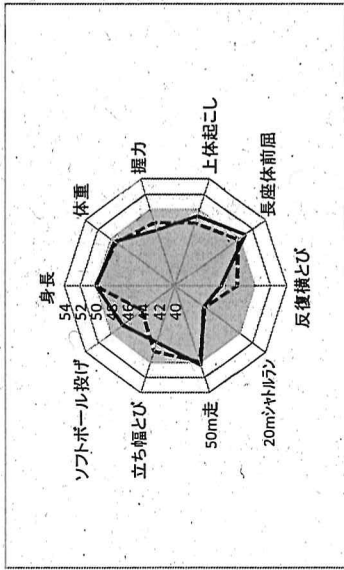
●全体の傾向として、ハンドボール投げ(巧み性)は、2年女子を除き、国や都の平均よりも高くなっていて、さらに、令和4年度の市の平均と比較しても、1年、3年男子及び1年女子の平均は高くなっている。  
 ●ハンドボール投げの結果が国や都の平均と比べて高い傾向だけでなく、保健体育の授業だけでなく、運動部活動等での活動により、ボールを投げることに抵抗が薄くなり、投げ能力が向上したものと考えられる。  
 ●長座体前屈(柔軟性)は、全ての学年で都平均を上回っている。また、全ての学年で多くの項目が都の平均より記録が高くなっている。このことは、各学校で計画的に実践している特色を生かした取組や、一人一人の生徒の実態に即した体力向上の取組の成果と考えられる。

全国(令和4年度) ■ 東京都(令和5年度) ---- 東久留米市(令和5年度) ——  
 全国(令和4年度)の値を50としたときの比較

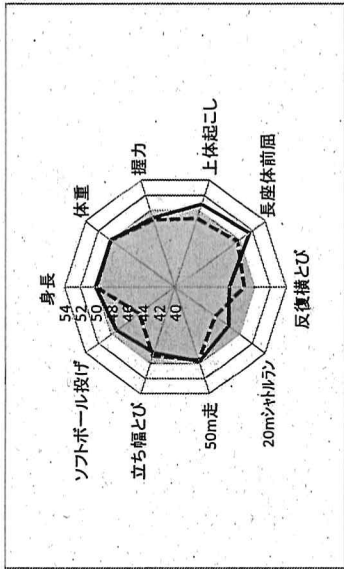
小学校4年男子



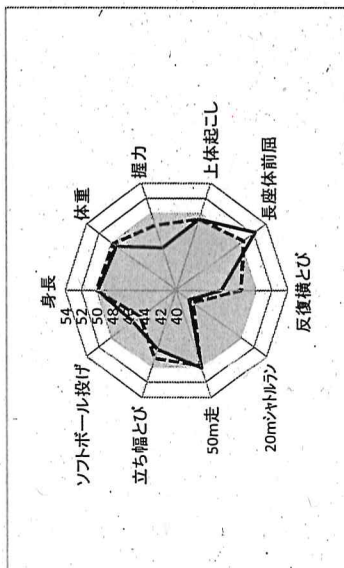
小学校5年男子



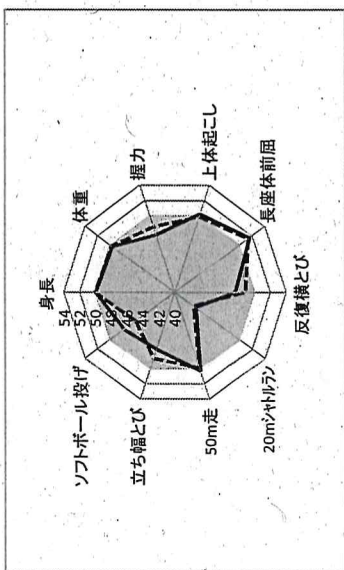
小学校6年男子



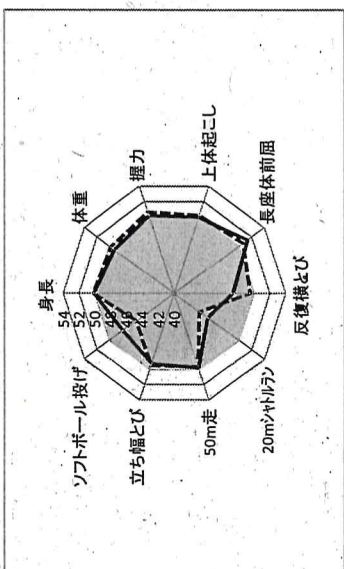
小学校4年女子



小学校5年女子



小学校6年女子

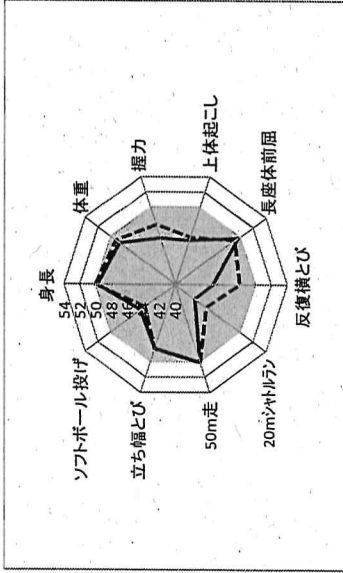


# 令和5年度 「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果についてI (小学校)

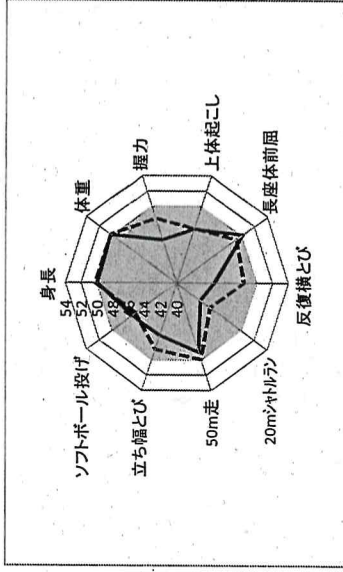
令和5年12月  
東久留米市教育委員会  
指導

全国(令和4年度) 全国(令和5年度) 東京都(令和4年度) 東京都(令和5年度) 東久留米市(令和5年度)

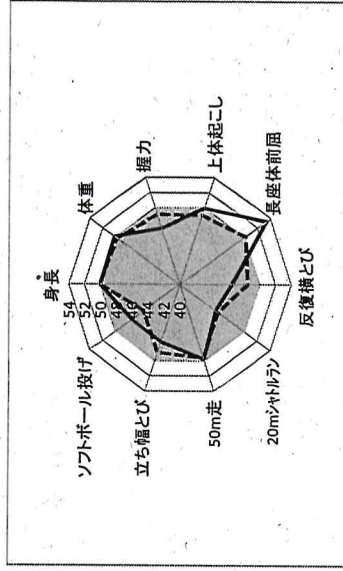
小学校1年男子



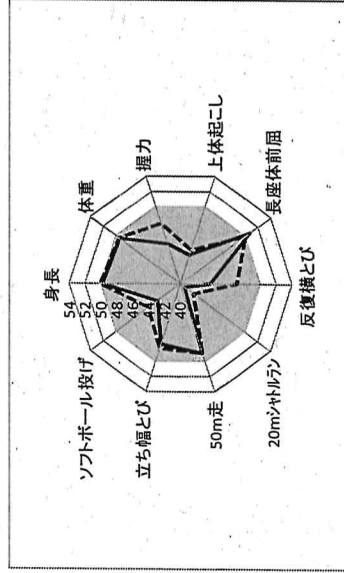
小学校2年男子



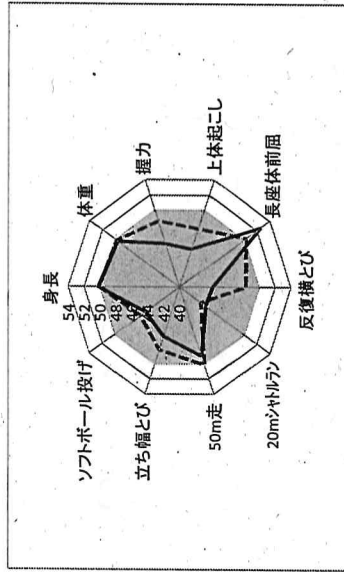
小学校3年男子



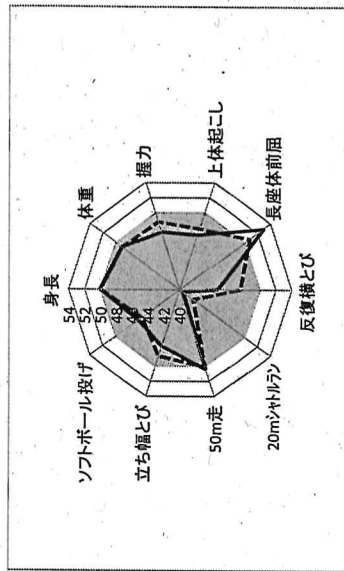
小学校1年女子



小学校2年女子



小学校3年女子



●全体の傾向として、長座体前屈(柔軟性)が国の平均と同程度又は上回っている学年がある。一方、20mシャトルラン(全身持久力)とソフトボール投げ(巧み性)が国の平均と比較して大きく下回り、反復横とび(敏捷性)も国及び市の平均と比較して下回っている。  
 ●20mシャトルランについては、昨年度に引き続き課題であるが、令和4年度の市の平均と比べると、ほとんどの学年で向上していた。このことは、各学校で取り組んでいる縄跳びやマラソンの旬間による運動機会の確保によるものと考えられる。  
 ●ソフトボール投げについては、本市の継続した課題であるが、令和4年度の市の平均と比べると、ほとんどの学年で向上していた。引き続き、年間指導計画を見直し、投運動に組み込む機会を意図的に設定するなとして、課題解決を図ることが必要である。